



## 鳥インフルエンザ

昨年末より、国内のいくつかの養鶏場で鳥インフルエンザの発生が報告されています。不安に思われる方もいらっしゃると思いますが、鶏肉や卵を食べることで鳥インフルエンザに感染することはないと言われています。

### 鳥インフルエンザとは

鳥インフルエンザは鳥類が感染するインフルエンザです。インフルエンザはインフルエンザウイルスによって引き起こされます。インフルエンザウイルスには多くの種類がありますが、**A型、B型、C型、D型**の大きく4種類に分類されます。このうち人に感染して流行が起こるのは主にA型とB型です。鳥インフルエンザウイルスもA型のウイルスですが、同じA型でも人に感染するウイルスとは異なる種類のため、人が鳥インフルエンザに感染することはほとんどありません。



異なる種類

鳥インフルエンザには「高病原性鳥インフルエンザ」、「低病原性鳥インフルエンザ」、その他の「鳥インフルエンザ」に分類されますが、このうち「**高病原性鳥インフルエンザ**」に鳥類が感染すると、その多くが死んでしまいます。現在、報道される鳥インフルエンザもこの高病原性鳥インフルエンザで、そのほとんどが死んでしまい、それ以上感染を広げないためにその養鶏場全ての鶏が殺処分となってしまいます。



### 養鶏場で感染が発生する理由

鳥インフルエンザウイルスに鶏が感染すると、その体内で大量のウイルスが増殖します。増えたウイルスは、体液や排泄物などと共に体外に排出され、同じ鶏舎の鶏たちに次々と感染していきます。

では、最初の鶏はどのように感染するのでしょうか？自然界には人工的に飼われている鳥以外にも多くの野鳥がいます。中には長大な距離を移動する渡り鳥もいます。自然界の中で自由に移動ができる野鳥が鳥インフルエンザに感染して、鶏舎に近づくことで、鶏舎内の鶏が感染するというケースが考えられます。また、鶏舎内で発生した鳥インフルエンザウイルスが鶏舎の床や水回りを汚染して、人や小動物、物や車に付着して周辺の農場に拡散するということも考えられます。いずれにしても、一度鳥インフルエンザが発生するとそこから爆発的に感染が広がってしまう可能性があることが、この鳥インフルエンザの脅威となっています。



## 鶏肉や卵は食べて大丈夫？

冒頭にも述べましたが、鶏肉や卵は食べても人に影響することはありません。

その理由として、



■鳥インフルエンザは人や犬・猫などその他の動物には感染しにくいと考えられています。

■感染が疑われる鶏や同じ農場の鶏は殺処分されるため、出荷されることはありません。

■鶏肉は処理場にて検査が行われているため、病気の疑いのある鶏肉が市場に出ることはありません。

■市場に出回っている鶏卵は洗浄・消毒処理が行われています。

■ウイルスは熱に弱く、十分な加熱調理を行うことで死滅します。

■ウイルスは酸にも弱いため、万が一食品中に含まれていても胃酸で死滅すると考えられます。

ということが挙げられています。

それでも不安であるという方は鶏肉や卵は信頼のできるお店で購入したり、十分に加熱してから食べたりすることをお勧めします。

## 鳥インフルエンザを拡大させないために

鳥インフルエンザのウイルスは人には影響ありませんが、人に付着して拡大していく可能性があります。そのため、不用意に養鶏場に近づくとウイルスが付着したり、付着させたりして、知らないうちに感染を広げてしまう恐れがあります。特に感染が拡大している時期は用事がない限りは養鶏場に近寄らないようにしましょう。

鳥インフルエンザが拡大していても、直ちに自宅で飼育している鳥が感染するということはありません。しかし万が一のことを考えて、こまめに清掃をして清潔な状態で飼育し、野鳥が近くに来ないように注意しましょう。鶏の体に触れたり、掃除をしたりした後は、忘れずにしっかりと手洗いとうがいをしましょう。こうした注意は鳥インフルエンザだけではなく、鳥が保有している細菌や寄生虫からも身を守ることに繋がります。万が一、飼っていた鳥が死んでしまい不安な場合は、獣医師や保健所に相談してみましょう。



また、野鳥が死んでいた場合は、素手で触らず、自治体などに相談しましょう。もしも多数の野鳥が死んでいるのを見つけた場合は、事件などの可能性もあるため、迷わず自治体や保健所に連絡してください。